





# 森の奥、沢の奥



鈴ヶ尾沢の美しい3番目の滝。現在、市内では139箇所の滝を確認しました。

あきる野の山には、作業道などの古い山道が数えられないくらいあります。その中には、何年も、何十年も使われていない道が多く、現在では道の存在がはっきりしない状況の場所も見られます。

奥山の森や沢を調べる時は、なるべくこれらの作業道などを利用し山登りを行います。道が消えてしまいはっきりしない時はGPSや自分のセンスに任せ、調査の目的によって歩くルートを決めます。但し、このように山を歩くことは、自身を危険にさらすこともあり、事前に昔の資料や現在の地図などで状況を確認するなど、注意する必要があります。

現在、沢登りなどを行う最も重要な目的はクマの調査や滝の調査です。特にツキノワグマについては、あきる野に生息する個体数や主な移動ルートなどを解明する必要があり、奥山の生息場所で見られる痕跡などを調査することが重要です。クマハギなどが集中している場所は調査を進める上で、最も役立つヒントを与えてくれます。そして、この数年間の結果から、正確な生息状況がやっと見えてきました。



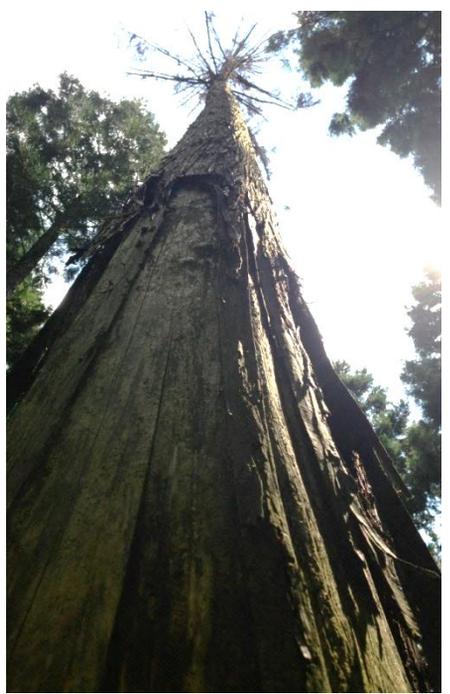
市内西部の溪流に生息するヒダサンショウウオ。光の当たり方により、美しい紫の体色に金色の点を現す、めったに出遭えない両生類です。

昨年冬、人里でクマの出没が相次ぎ、やむなく捕殺される事態となりました。このような事が再び起こらないように願いながら、調査を行っています。正確な情報が得られることで、今後のクマ対策などに、適切な行動ができることを期待します。

今年5月、上養沢でセンサーカメラを使用した調査で映ったツキノワグマの若い個体。



長い間、手入れがされていない植林は市内で多く見られます。沢や尾根にあった道は荒れてしまい、夏期は下草が多いため、森歩きは困難です。



クマハギにより枯れてしまった杉の木。近年、この様な枯木が急に増加しています。

[パブロ]



森っこサンちゃん